

《学校教育目標》

「将来の夢を実現するために、自らを磨き続けられる人間の育成」

《学校教育方針》

- ☐ 一人一人の生徒に対し、個に応じた能力の伸長をはかる教育の推進
- ☐ 人を大切にし、あらゆる差別を許さない態度を育成する教育の推進
- ☐ 集団の中で支え合い・磨き合い・高め合う生徒を育てる教育の推進

《本年度の重点課題》

「社会につながる表現力の育成～主体的に「考えて話す」生徒に！～」

キーワード：「こ・じ・か（根拠を示し、順序立てて、簡潔に伝えよう!）」

★ 学校体制（全教職員）で計画的・具体的・組織的・体系的に取り組みます。

1. 研究主題への取り組み

- ※研究主題：社会につながる表現力の育成～主体的に「考えて話す」生徒に～
- ・各教科、単元ごとで、生徒による「ミニ授業（振り返り）」を取り入れる。
- ・学活、道徳、総合での意見交流（小グループ→大勢の前で!）、発表活動や生徒会活動

2. 各教科で「学習確認プログラム」の予習・復習シートを必ず活用する

3. 各教科で「家庭学習」の推進を積極的に図る

4. 各種検定の実施

- ①1年生「あしあと検定」・2・3年生「パフォーマンス実践」の実施
- ②「めんせつ（作法、しぐさ、スピーチなど）検定」の実施
 - ※1・2年生は年1回、3年生は進路に向けての取り組みとして3学期に1回実施予定
- ③「えいご（英語）検定」の受検促進
 - ※年2回（5月・9月）

5. 「こじか」の実践として各授業でのパフォーマンス課題や学校祭文化の部での発表に取り組む

★定期的に成果を確認して振り返り、反省を次に生かすよう取り組みます。

（PDCAサイクル）

- | | |
|--|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 学校評価アンケート（保護者用） | <input type="checkbox"/> 生徒アンケート（生徒用） |
| <input type="checkbox"/> クラスマネジメントシート（生徒用） | <input type="checkbox"/> 学習確認プログラム |
| <input type="checkbox"/> 全国学力学習状況調査 | <input type="checkbox"/> 教員アンケート |

《具体的には》

- ☐ 一人一人の学力状況を正確に把握し、課題を明確にすると共に、基礎基本の定着と生徒理解に基づいたきめ細かい指導ができる『少人数授業』や『TT（チームティーチング）』の授業形態を取り入れ、「つながりを生かした学び合い活動」を活用した授業を積極的に進めていきます。
- ☐ 『人権尊重の学校づくり』を目指します。家庭や地域と連携して、一人一人の子どもが、お互いを尊重し、認め合い、支え合い、共に生きることの大切さを学ぶことを通じて、人権という普遍的文化の担い手の育成を推進します。
- ☐ 集団の中で支え合い・磨き合い・高め合う生徒を育てるために、『学級活動』『生徒会活動』『部活動』を通して、一人一人の生徒が、与えられた役割を責任持ってしっかり果たすこと、仲間と共に汗を流し、話し合い、協力し合うことで充実感・達成感を持てるように進めていきます。
- ☐ 小中一貫教育9年間のスパンで、保護者や地域と共に児童生徒を育みます。義務教育卒業時につけたい『目標を持って意欲的に学び続ける力、自分も他人も大切にする行動をとれる力、仲間と支え合い繋がり合える力』の育成に向けて、小中間で連続性のある教育を進めていきます。

《令和7年度の教育課程》

通 年 制	学期	1学期					2学期					3学期				
	月	4		5	6		7	8	9		10	11	12	1	2	3
	活動	入学式・始業式 家庭訪問		3年生修学旅行 2年生チャレンジ体験	教育相談 定期テスト①		三者懇談	夏季休業		教育相談 定期テスト②	学校祭 進路教育相談 定期テスト③		三者懇談	冬季休業	定期テスト④(3年)	私立入試・公立前期選抜 定期テスト④(1・2年)

- ☐ 定期テストを年間4回行います。(休み明けテストを実施する教科があります)
☐ 1学期と2学期には、教育相談週間を設けます。
☐ 評価を知らせる時期は次の3回とし、その内容は観点別学習状況及び5段階評定です。
 全学年→期間を「4－7月」・「4－12月」・「4－3月」として評価内容をお知らせします。
☐ お知らせ時期：夏季休業前／冬季休業前／学年末
 (夏季・冬季休業前の2回については個人懇談会を保護者来校の形式で実施します。)

《年間授業数》

①普通学級

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	学活	道徳	総合	計
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

②育成学級

区分	必修教科									学活	道徳	作業生単	総合	計
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語					
1年	105	70	105	35	70	35	90	35	35	35	35	315	50	1015
2・3年	105	70	105	35	70	35	90	35	35	35	35	295	70	1015

【週時間割および時程】

- 授業時間は50分です。
 ■ ※は授業の場合があります。
 ■ KHとは、総合的な学習の時間です。

	月	火	水	木	金
1	授	授	授	授	授
2	授	授	授	授	授
3	授	授	授	授	授
4	授	授	授	授	授
5	道	授	授	学	KH
6	授	授	授	※	KH

時程	6限授業日	5限授業日	午前中授業
朝読書	8:25 ~ 8:35		
朝学活	8:35 ~ 8:40		
1時限	8:40 ~ 9:30		
2時限	9:40 ~ 10:30		
3時限	10:40 ~ 11:30		
4時限	11:40 ~ 12:30		
昼食	12:30 ~ 12:50		
昼休憩	12:50 ~ 13:10		
5時限	13:15 ~ 14:05		
6時限	14:15 ~ 15:05		
終学活	15:10 ~ 15:20	14:10 ~ 14:20	12:50 ~ 13:00
清掃	15:20 ~ 15:35	14:20 ~ 14:35	13:00 ~ 13:15
下校	15:45	14:45	13:25

【部活動終了時刻(通年)】

- (終了時刻 16:45 完全下校 17:00)

《学習について》

- ☐ 嘉楽中学校では、学校教育目標の「将来の夢を実現するために、自らを磨き続けられる人間の育成」を達成するために、以下に重点を置いて取り組んでいます。ご家庭でも、お子達への支援をお願いします。

(1) 少人数制、学び合い活動

- ☐ 少人数授業や複数教師が1クラスに入るTT授業を通じて、1人1人を徹底的に大切にし、基礎基本の定着を図ります。また、各教科の教員は全学年の授業に関わり、担当学年だけでなく、全学年の生徒を把握し、個々の生徒の実態に即した授業の工夫や授業の実践に取り組みます。
- ☐ 「学び合い」とは、教え合いとは異なり、「グループ活動を通して仲間の意見から自分の意見を磨く」「仲間と言葉を交わすことで、仲間の違いや立場を共感的に理解する」を通して、生徒1人1人の学力保障を目指すものです。
- ☐ 土曜学習＝定期テスト対策学習や入試対策学習として実施します。自学自習を基本とし、生徒自身が問題集等を持参し、9時～11時の2時間の学習をします。

(2) 各種検定 以下の3つの検定をおこないます

- ☐ 「あしあと検定」＝学力向上を目指して、普段の授業を大切にする意識を高めます。
- ☐ 「パフォーマンス実践」＝授業を考え、発表することを通して、他者に伝えることを意識して取り組む。それにより学習内容の理解を深め、表現力を高める。
- ☐ 「めんせつ検定」＝相手に正しく伝える力、コミュニケーションスキル、社会生活に必要なマナー、望ましい話し方や作法などを育みます。
- ☐ 「えいご検定」＝英語力を示す基準として広く知られている英検を校内で実施することにより、生徒の実践的英語力を養う機会の拡大を図っています。

(3) 家庭学習（宿題）

- ☐ 毎日プリント1枚程度の宿題を配布しています。GIGA 端末を使用しての課題も出されます。
- ☐ 休日・祝日や長期休業中については、学年の状況に応じて配布されます。
- ☐ 終学活時に各学級で宿題を配布し、翌日の朝学活で提出してもらいます。
- ☐ 提出できなかった場合、原則、当日に提出できるように指導します。
- ☐ 宿題の未提出が続く場合は、家庭に連絡させていただきます。

(4) 朝読書

- ☐ 毎日、朝学活の時間に「朝読書」を設定します。学年が上がるごとに、より質の高い読書を目指し、学校図書館と連携します。

(5) 学習確認プログラム

- ☐ ・1年生＝4月、10月、1月 ・2年生＝7月、10月、1月 ・3年生＝5月、10月
- ☐ それぞれの前後に予習シートと復習シートを積極的に活用します。

(6) 校内授業研究

- ☐ 教職員の授業力向上を目的として校内授業研究を実施する予定です。

《生徒指導について》

○いじめ・不登校対策

- ☐ 本校では、いじめの未然防止に向け、嘉楽中学校「学校いじめ防止等基本方針」を策定しています。詳しくは、嘉楽中学校ホームページに掲載されますのでご覧ください。
また、校内においても、「いじめ対策委員会」「不登校対策委員会」を設置し、一人一人を大切にした対応を心掛けています。何かございましたら、担任までご相談ください。

嘉楽教育の しおり



京都市立嘉楽中学校

〒602 - 8473

京都市上京区般舟院前町 1 4 8

TEL 075-431-0312 FAX 075-431-0313

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/karaku-c/>

e-mail karaku-c@edu.city.kyoto.jp